

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 入間市公民館運営審議会 (第2回)
開 催 日 時	令和4年12月2日 (金) 午前10時30分 開会 ・ 午前11時40分 閉会
開 催 場 所	市庁舎5階 全員協議会室
議 長 氏 名	徳永美代子
出席委員(者)氏名	徳永美代子 西澤裕子 中西一敏 塚原とみ子 鎌田実幸 中込勝英 清水昇 木下英次 木村木 開坂武 北田尚美
欠席委員(者)氏名	今泉大二郎 栗原朋子 伊與田麻利 小山輝久
説明者の職氏名	社会教育課主幹 奥村芳人
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 委員長あいさつ 3 報告事項 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	1 次第 2 地域づくりに向けたアンケート実施結果 3 令和4年度各公民館文化祭来場者数等一覧表 4 入間市地区センター市民説明会
事務局等職員職氏名	市民生活部次長 片寄貴之、副参事 吉田純子 教育部部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、 社会教育課長 吉川哲夫、主幹 奥村芳人、副主幹 那須育子 主事 新井竣介
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○概要

下記の点について事務局より説明を行う。内容について運営審議委員より確認等のある場合は、質疑応答を行う。

今回審議において特に議決すべき案件はなく、委員及び事務局との間の質疑応答と各委員の意見提出のみが行なわれた。

(質疑応答の詳細については、会議録(3)による)

3 報告事項

- (1) 地区センター市民説明会について
- (2) 地域づくりに向けたアンケートについて
- (3) 令和4年度地区公民館文化祭について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
徳永議長	<p>※委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>本日の出席委員は11名で会議は成立する。傍聴人1名の申し込みがあった。会議録の署名は塚原委員にお願いする。</p> <p>それでは「3報告事項」に移る。「地区センター市民説明会について」事務局から説明を願う。</p>
奥村主幹	<p>(「地区センター市民説明会について」説明)</p>
徳永議長	<p>ただいま説明があったが、質問などあるか。</p>
開坂委員	<p>地区センター説明会は、今、説明した内容で行うということか。</p>
吉川課長	<p>そうである。</p>
開坂委員	<p>地区センターの機能と体制について、西武公民館ではすでに支所と包括支援センターが併設されており、非常にスムーズに運営されていて、住民にとって便利である。地区センターでは地区センター長を置くとのことだが、現状、公民館には公民館長、支所には支所長、そして包括支援センター長がいる。それを一人で担うのは厳しいのではないか。支所長、公民館長、包括支援センター長というそれぞれの長を決め、その上にセンター長を設けるべきと考える。</p> <p>先日も多くの住民がマイナンバーカードを作り西武公民館に来所し、机を二つ並べて職員が対応していた。また、包括支援センターでは認知症サポーターの講座があり、私も参加し認知症サポーター証を得た。支所機能、公民館機能等、充実することはすばらしいが、現在、支所長が自治会を担当する形で十分機能できている。</p> <p>2点目は、前回会議でも言ったが、飯能市はすでに地区センター化されており、公民館の名前を残している。資料4ページのアンケートでも57%が公民館の表記は必要と答えている。公民館という名前は、どの地域にも根付いている。看板を立てるかは別として名前は残してほしい。</p>
吉川課長	<p>地域包括支援センターは業務委託なので、今後も包括支援センター長はそのままである。地区センター長は、一人が支所長と公民館長の両方を受け持つ形である。自治会の支援はこれまでは支所長が中心だったが、来年度以降は地区センタ</p>

発 言 者	発 言 内 容
北田委員	<p>一長のほかに、地域づくり担当職員が公民館のほか自治会の担当を担う形になるのでご理解いただきたい。</p> <p>2点目の公民館の看板だが、公民館設置条例は残るので公民館という名称も残る。看板についても地区センターと公民館を併記する形で調整中である。</p> <p>公民館は子どもが放課後自由に使える居場所となっている。地区センター化後も分館を変わらず使えるとあるが、公民館機能としてそういうものが無くならないようにしてもらいたい。</p> <p>また、分館について、令和11年度以降のことは決まっていないということだが、構想などあったら教えていただきたい。</p>
吉川課長	<p>子どもの居場所づくりは重要と考えている。地区センター化後も、放課後の空き室開放などができるよう、分館についても調節中である。</p> <p>令和11年度以降については協議しているところである。</p>
木下委員	<p>分館について、不安の解消に向けて団体間の交流できる機会を作るとあるが、現時点で何か案があるのか。</p>
吉川課長	<p>サークルは高齢化による会員減少等の課題を抱えている。また、分館閉鎖時に地区センター会議室の利用調整が難しくなることが想定されている。団体が交流していくことで、団体の統合も含め会員が増え、新しい活動に繋がることが望ましいと考えている。</p>
木下委員	<p>今あるサークルが何月何日に統合に向けた会議をするというような具体的なことではないということか。</p>
吉川課長	<p>具体的な日程は決まっていない。同じような活動をしている団体に、今後、公民館からアプローチしたい。まず、団体同士が少しずつ交流していくことが重要である。</p> <p><市民生活部職員退席></p>
徳永議長	<p>次に、「地域づくりに向けたアンケートについて」事務局から説明願う。</p>
奥村主幹	<p>(「地域づくりに向けたアンケートについて」説明)</p>

発 言 者	発 言 内 容
徳永議長	<p>質問などあるか。</p> <p>ないので、次に「令和4年度地区文化祭について」事務局から説明願う。</p>
奥村主幹	<p>(「令和4年度地区文化祭について」説明)</p>
徳永議長	<p>今年度の文化祭において、良かった点、工夫した点などを報告いただきたい。</p> <p>黒須公民館では、コロナ感染症の流行が始まった令和2年度の文化祭は、ケーブルテレビによる収録という形をとった。令和3年度の動の部は地区体育館を借り、今年は黒須小学校の体育館をお借りした。小学校の体育館は、前日準備ができず全て当日に準備した。また、全てを公民館から運ばなくてはいけないので大変だった。心配したが、朝7時に行くと職員がすでに看板を設置していた。当日はスポーツ協会の催しもあり、駐車場もいっぱいだった。地区のボランティアとして、子どもから大学生まで来てくれた。大変だったが、感染者もなく無事開催することができた。</p>
鎌田委員	<p>金子公民館では、静の部と、ジュニアリーダーによるミニ子どもまつりを同時開催した。いつもより子どもの数が多く皆喜んでいた。</p>
開坂委員	<p>西武公民館では、文化祭実行委員会で協議した結果、動の部は中止し、静の部のみ開催することに決定した。静の部は、サークルのみの展示を大会議室で行い、小学生や個人の作品はなしにした。コロナが収束したら盛大に開催したい。</p>
鎌田委員	<p>金子公民館は、動の部を例年3月に開催している。今年度の動の部は、参加募集をしたところ1団体のみ応募のため中止を決定した。</p>
徳永議長	<p>以上で全て終了したので、議長の座を下ろさせていただく。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 4 年 12 月 9 日

議 長 の 署 名

徳永 美代子

議長が指名した者の署名

塚原 とみ子

